

図書館だより

第150号

2023年1月31日(火)発行
茨城県立筑波高等学校 図書委員会

☆学校図書館は楽しい場所！落ち着く場所！

学校図書館はみなさんを待っています。昼休みは水曜日を除き、12時40分頃～13時15分までと放課後は15時50分～開館しています。本の貸し出しだけでなく、コミュニケーションの場所！学習の場所！として是非利用してください。また、クラス企画のイベントなどでもご利用ください。さらに、読みたい本が見つからない場合はいつでもリクエストできるので、図書館フロントにあるリクエスト用紙に読みたい本を書いて提出してください。



推薦図書コーナー

《大塚健司教頭先生が推薦する図書》

- ・書籍名：生まれる地名、消える地名
- ・著者：今尾恵介
- ・出版者：実業之日本社
- ・推薦の理由：私は社会科の教員ですので、「平成の大合併」による市町村合併には大変興味をもっています。その際、歴史ある地名が消えたり、今風の地名が付けられたりすることを残念に思います。本書では具体的な経緯などを紹介していますので、とても勉強になります。



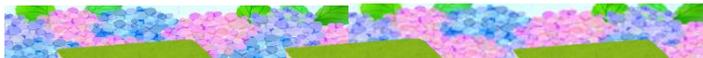
《飯田彩織先生が推薦する図書》

- ・書籍名：『銀河英雄伝説(本巻10巻 外伝4巻)』
- ・著者：田中芳樹
- ・出版社：徳間書店
- ・推薦の理由：江戸むらさき特急と聖伝と悩みましたが、こちらで。高校のときに全巻読んだスペースオペラです。同盟軍と帝国軍からの視点でそれぞれ描かれています。どちらも違ってどちらも正しい、そんな多面的な考え方の大切さをこの本で学びました。



《後藤忍生先生が推薦する図書》

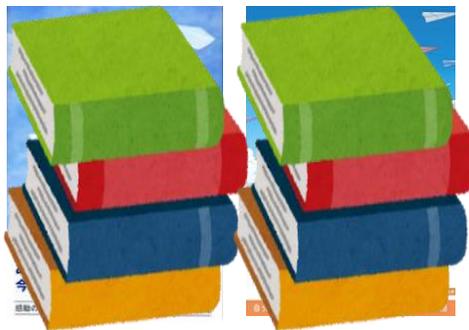
- ・書籍名：『リング』
- ・著者：鈴木光司
- ・出版者：角川書店
- ・推薦理由：みんなご存じの「貞子」が出てくる有名小説です。きっと「映画を見たよ」という生徒も多いのではないのでしょうか。しかし小説は、ホラーというよりも謎解きに重きを置いたミステリー色の強い作品になっています。極上のミステリーを読んでみてはいかがでしょうか。



《仲宗根大輝先生が推薦する図書》



- ・書籍名:『きみと会えたから・・・』
- ・著者:喜多川 泰
- ・出版者:ディスカバー・トゥエンティワン
- ・推薦の理由: 自分の生き方を改めて考えるための、たくさんのヒントをしてくれる本です。この本を私が読んだのは、確か中学生くらいだったかと思います。精神的に未熟で幼かった私に、「生き方」の大切さを実感させてくれました。読めばきっと、心が明るく透き通った気分になる、そんな本です。ぜひ読んでみてください。



☆高等学校図書館の整備状況(茨城県)

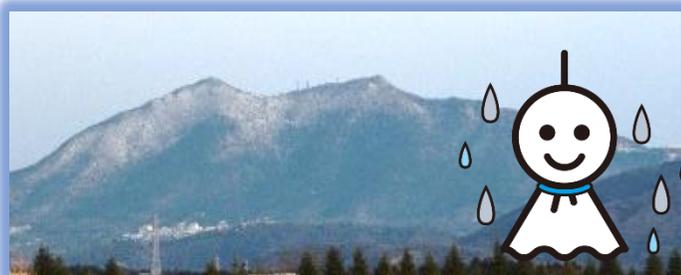
文部科学省では、第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」として令和4年～令和8年に至る5年間で図書・新聞等の整備に必要な計画を進めています。

学校図書館には本来図書や新聞以外にも図書資料、雑誌、視聴資料(CD、DVDなど)、電子資料(CD-ROM、ネットワーク情報資源)、ファイル資料、パンフレット、地域の郷土資料、模型等の配置が必要とされていますので、今後ご期待ください。

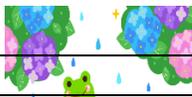
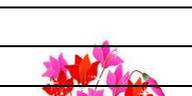
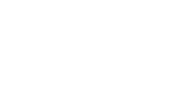
なお、学校図書館は本の貸し出しのみというイメージが強いと思いますが、「読書センター」、「学習センター」、「情報センター」としての役割があり、かつ誰でも気軽に利用できる場所であるべきと示されています。

どうぞこれからも筑波高校学校図書館を是非利用してください。

ちなみに、茨城県の高等学校図書館の新聞配置率は約98%で、全国平均の95.1%を超えています。



【11月購入分】の希望新着図書 19冊購入のうち一部を紹介します！

No	書籍名(※11月18日[金]着書籍)	著者名	出版社
1	がまの油 	作:斎藤 孝 絵:長谷川 義史	ほるぷ出版
2	あと少し、もう少し 	瀬尾 まいこ	新潮社
3	母性 	湊 かなえ	新潮文庫
4	ラブカは静かに弓を持つ 	安壇 美緒	集英社
5	空にピース 	藤岡 陽子	幻冬社
6	ミスモールランド 	川和田 恵真	講談社
7	宙ごはん	町田 そのこ	小学館
8	月の光届く距離	宇佐見 まこと	光文社
9	ロング・アフタヌーン	葉真中 顕	中央公論社
10	マスカレード・ゲーム	東野 圭吾	集英社
11	爆弾	呉勝 浩	講談社
12	特許やぶりの女王弁理士・大鳳未来	南原 詠	宝島社